

「第 67 回 港南区の歴史散歩」

1. 日時、コース

(1) 日時 : 平成 19 年 7 月 7 日 8 : 30 ~ 12 : 20

(2) コース : 旧宮ヶ谷村・宮下村 (現港南台 1~2・日野中央 3)

JR 港南台駅	うぐいす団地 (港南台 3)	港南台入口交差点	安養院
(港南台 2-24)	四ッ切公園と共同墓地 (港南台 2-17.8)		横横道路・
日野インター脇 (日野中央 2-51)		日野川脇・防災協力農地 (日野中央 3-15~18)	日野中央 3・共同墓地 (日野中央 3-22)
			港南台 1-52) 解散)



注 1 : 囲み数字 (例 =) はスナップ写真に記載されている番号を示す。

2. 当日のスナップ

- ・ 今回の歴史散策地は旧字名ではかつての吉原村・宮下村に当たるところです。
この地域は鎌倉・室町時代とも確たる歴史を残しておりません。ただ現在の日野小学校付近の高台の地名を御所ヶ谷といますが、新編武蔵国風土記稿の金井村に「真南台、西方相州境にあり、村内第一の高山なり、織部屋敷又は古陣屋跡とも云、鎌倉治世の頃は陣屋などありし所なるべしと云」との一文があり、また地形的にも三方を山に囲まれ南東の開けた前方には日野川が流れるなど城館を想像でき、歴史の痕跡を感じとることは出来ますが確たることはわかりません。
- ・ 江戸末期(1830年)の戸数は宮下村 34 戸、吉原 40 戸で面積が広い割には住民数は少なく、山塊多く平地の少ない地域でした。
- ・ この地域の西北の高台尾根は武相国境であり、武蔵国風土記稿には「古くは鎌倉海道なりしか、今は小径残るのみ」とあり、街道として往来多い道があったのかもかもしれません。

(1) 港南台 3 うぐいす団地
建替え反対の声もあるが、
近く 15 階建て立替予定



(2) 港南台入口交差点 (港南台 3-24、港南台 2-24)

ア．港南台北公園方面をみる
左右方向は舞岡・上郷線



イ．舞岡・上郷線より港南台
中央公園方面をみる



(3) 安養院 - 古儀真言宗、創建時期不明、鎌倉時代と

ア．本堂 - 昭和 56 年新築、かつて
本堂裏手にやぐらがあった



(4) 四ッ切公園と共同墓地

港南台 2-17 ~ 18
写真突き当たり



(5) 港南台 2-18 共同墓地と石仏群（四ッ切公園は共同墓地の向かい側にある）

ア) 右から庚申塔、馬頭観音塔、庚申塔



イ) 後ろ右から石塔、地蔵菩薩、庚申塔、庚申塔、手前右庚申塔



(5) 共同墓地内

ウ) 常夜灯
大山信仰と関連



(6) 日野川（港南中央通 1 で笹下川と合流大岡川となり東京湾に注ぐ）

ア) 日野中央 3-14
蛇行して流れている



イ) 日野中央 3-16
防災協力農地



ウ) 日野中央 3-20 付近
ここより暗渠となる



(7) 日野中央 3-22（旧、宮下村 字沢ヶ谷、源氏の隠れ里）の 共同墓地

ア. 共同墓地前の三叉路
木が茂っている後ろが共同墓地



イ. 右から宝篋印塔、如意輪観音像



ウ) 宝篋印塔（慶安 2 年 - 1649）と彫られている



以上